

Sustainable Tourism KYOTO

消費する観光から、文化の発展につながる観光へ

Sustainable Tourism (持続可能な観光)とは

訪問客、業界、環境および訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在および将来の経済、社会、環境への影響を十分に考慮する観光

出典：国連世界観光機関 (UNWTO)「持続可能な観光の定義」

このまちを愛する私たちと、このまちを愛してくれる観光客。

同じ思いを持っていても、
生活する人と観光する人の中には、目に見えない壁がある。

その壁を作ってきたのは、
私たちが今まで提供してきた“旅”のあり方なのかもしれない。

1000年を超える悠久の歴史の中で、
このまちで人々の知恵と創造が交わり、文化が発展し、街が栄えた。

そして今、これまでの“旅”を見直して、観光の新しい価値を創りはじめた人たちがいる。

京都で暮らす人、働く人、そして観光に関わる全ての人に問いかけたい。
京都が京都であり続けるために、いま私たちに何ができるのだろうか？

京都・世界の潮流



京都市への観光客による 地域や環境に配慮した行動

京都市が令和3年に開始した「持続可能な観光に対する意向調査」の結果、多くの観光客による地域や環境に配慮した行動が可視化された。

出典：京都市「令和3年観光客の動向等に係る調査結果【概要】」

日本人観光客 持続可能な観光に対する意向調査

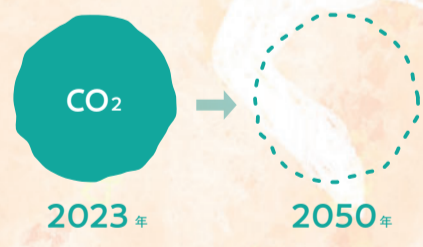
旅行中はなるべく徒歩、自転車、
公共交通を使いたい **56.0%**

文化や文化財の維持に貢献したい **40.5%**

訪問先の地域を思いやる行動を
取った **71.8%**

環境に配慮した行動をした **89.0%**

飲食・買い物の際に京都産
の食材や商品を選んだ **73.0%**



「2050京からCO2ゼロ条例」 観光旅行者も対象に

「京都市地球温暖化対策条例」を令和2年12月に全面的に改正し、愛称を設定。2050年にCO2排出量正味ゼロを達成するために、事業者・市民に加えて、観光旅行者にも地球温暖化対策への協力を呼びかけている。



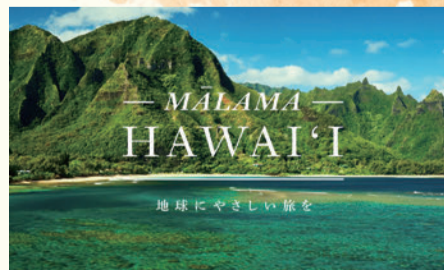
旅行者が従うべき ニュージーランドでの約束

観光客に環境への配慮や文化への敬意を提言する「Tiaki Promise」。ニュージーランド航空など6団体が2018年に作成した。Tiaki (ティアキ) は先住民マオリの言葉で、人と場所を守るという意味を持つ。



パラオへの入国には 環境保護の誓約書が必要

パラオ政府は2017年より、入国者のパスポートに環境を守る誓約書を押印し、サインと環境税100ドルの支払いを義務付けている。世界初の観光施策であり、誓約書の作成にはパラオの子どもたちも参加した。



ハワイでは「再生型観光」への 転換が進む

ハワイ州観光局はハワイを思いやる心を意味する「マラマハワイ」を掲げて、自然保全、文化継承、地域貢献に繋がる「責任ある観光」と「再生型観光」を推進し、住民と旅行者双方が満足できる持続可能な観光を目指している。



京都観光モラル

京都が京都であり続けるために
皆様と大切にしていきたいこと

京都観光モラル

観光事業者・従事者、観光客、市民の皆様が、お互いに尊重しあい、思いを一つにし、かけがえない京都を未来へと引き継いでいくため、京都観光に関わる全ての皆様に大切にしていきたいこととして策定された行動基準です。

京都観光モラル推進宣言事業者の取組

- ① 観光客へのマナー啓発・対策、京都観光モラルの啓発、地域のルールや習わしの周知
- ② 従業員への京都観光モラルの理解・実践を促す取組
- ③ 地域文化・コミュニティへの貢献、市民生活と観光の調和
- ④ 質の高いサービス・商品の提供・人材育成
- ⑤ 環境・景観の保全
- ⑥ 災害や感染症等の危機に強い観光

Stay in
KYOTO
Make our
KYOTO

京都観光モラル推進宣言事業者
Company committed to Sustainable Tourism in Kyoto
わたしたちは、京都が京都であり続けるために行動します。

事業者リスト GoogleMap版

150社以上の事業者をマッピングしています。
サステイナブルツーリズムの商品開発などには是非ご活用ください。



京都観光モラル推進宣言事業者による、観光の新しい価値を創る取組をご紹介します。

人にも、自然にも、いいものを 楽しみながら取り入れる



サステナブルをテーマに、ホテル・物販・サービスを提供する複合型商業施設。食品廃棄物の堆肥化や使い捨てるアメニティの見直し、トレーサビリティを確保した商品開発など、全館で取り組みを実践している。

GOOD NATURE STATION

環境・景観の保全



100年先の社会に 貢献する視点を持つ



有機 JAS 認証や国際フェアトレード認証を取得したエシカルコーヒーのみを扱う喫茶店。“100年先の社会”をコンセプトに環境への配慮と本物の味わいを両立させ、コーヒーを通じて持続可能な社会の実現に挑戦する。

小川珈琲 堺町錦店

市民生活と観光の調和



日常業務を通して 地域の景観や安全を守る



観光人力車を引く俣夫（しゃふ）が、地域の清掃活動や防災活動、京都府警の取組「子ども110番の人力車」の対応などを行う。地域社会への貢献を理念に掲げ、日常業務を通して地域の景観や安全を守っている。

えびす屋

市民生活と観光の調和



一人ひとりの持ち味を活かし サービスを向上させる



190年続く老舗旅館が組織変革に挑戦。従業員のマルチタスク化や、業務内容の見直し等により生産性を上げつつ、接客時間の増加にも成功。コロナ禍の休校中に子供を預かる「旅館で寺子屋」など、一人ひとりの持ち味を活かしたサービスを生みだす。

綿善旅館

質の高いサービス



観光客と地元住民と 事業者がつながる場づくり



地域住民が観光情報を提供する観光案内バーを、コワーキングスペースに併設。京都の仕出し文化を受け継ぎ、近隣の飲食店とも連携している。観光客と地元住民が交流することで、京都の魅力を再発見しリスペクトし合う場。

SIGHTS KYOTO

市民生活と観光の調和



伝統文化を消費せず 敬意と配慮のある観光へ



非公開寺院の特別拝観や、京都の文化財や風習を活用した観光モラルの高い文化体験をプロデュースする。施設や文化としての特色だけでなく、担い手の価値観や習慣に対しても尊敬と配慮を怠らず、オーダーメイドで提案を行う。

(株)京都春秋

質の高いサービス



食品ロスが出ない仕組みを 目指した商品開発



お土産の老舗企業が、副産物や規格外品などのロス食材を活用した京都ならではのシュートレンの開発に参画。製造時に切り落とされた端材を提供している。廃棄物が出ない仕組みを模索することで、経済にも環境にも利点がある。

(株)聖護院八ッ橋総本店

環境・景観の保全



地元住民の見識から コンテンツを創る



印刷会社が始めた、京都と人をつなぐ Web メディア「Kyoto Love. Kyoto」。事業で得た関係性を活かして京都人も知らないような地元住民の見識を発信し、書籍化も行う。京都の新しい楽しみ方を提案する試み。

サンケイデザイン(株)

市民生活と観光の調和



伝統的な食文化の真髄に 触れる機会を創出



嵐山の料亭が、市内 80 店以上の老舗料亭と共に食文化体験プロジェクト「KYOTO365」を展開。伝統的な食文化を次世代に継承すべく、「本物の京都に触れよう」をテーマに、歴史や文化を学びながら食事を楽しんでいた。

(株)松尾温泉京料理鳥米

質の高いサービス



お互いを思いやる 観光の新しい哲学を提案



スポーツマンシップの観光版として「ツーリストシップ」を提唱。旅行者も住民も事業者も、全ての人が心地よく過ごせる観光を目指し、修学旅行生向け探求学習プログラムの展開や、観光地でのブース出店を行う。

(一社)ツーリストシップ

市民生活と観光の調和



陶芸への新たな関わり方を 提案する



清水焼団地にある新感覚の陶芸スタジオ。味覚と共に器を感じるフードスタンドや、好みの色や形でオーダーができる会員制度など、五感を活かした体験を提供。ホテル客室での金継ぎした茶器の使用など、他社との連携も行う。

TOKINOKI Ceramic Studio

質の高いサービス



農業をめぐる課題に 次世代と取り組む



街中にある立地を活かし、生産者と消費者の距離を近づける観光企画を展開。端境期には多世代が農業に触れられるイチゴ狩りを開催する。フードロスに取り組む大学生との商品企画など、若い世代と農業をつなぐ活動にも積極的。

うつみ農園

市民生活と観光の調和



実現すべき目標を 先に宣言してしまう



2030年までにタクシー全車をEV(電気自動車)にすることを宣言。CO2排出量実質ゼロを目指し、宣言時の4%を3年後の2025年に30%にするを発表した。2023年にはSDGsを学習するEV修学旅行のスタートも予定。

エムケイ(株)

環境・景観の保全



近隣住民と一緒に 災害に備える



若手作家が職住一体型の暮らしを営む、築100年余の町家が連なる長屋。火災発生時に大家へ電話が入る自動火災報知器を全戸に設置し、日頃から消火器の使い方や被災時の避難通路を住人に案内するなど、防災に取り組んでいる。

あじき路地

災害対応



地域の事業者が連携し 観光客が回遊したくなるまちへ



洛中唯一の造り酒屋が、普段は公開していない酒蔵の見学をベースに、地域の事業者と共創した観光ツアー「京都洛中酒蔵ツーリズム」を企画。早朝の仕込み作業の見学など、個人の旅では足を踏み入れがたい体験を提供する。

佐々木酒造(株)

質の高いサービス



取引先を巻き込んで ニュースをつくる



地域情報を扱うメディア企業が、飲食店、ホテルなど40団体と共に「エシカル・フードロス・アライアンス」を立ち上げ、研究から実践まで様々なフードロス削減の活動に取り組む。SDGsについて考えるフリーペーパーの発行も実施。

(株)リーフパブリケーションズ

環境・景観の保全



地域住民の特技を 活かして事業を展開する



語学や茶道などが得意な地域の女性と共に100種類以上の文化体験ツアーを提供し、毎年約150人の雇用を生む。留学生と英語で京都を巡る教育旅行プログラムや65を超える国々からの留学生が接客する「世界カフェ」の運営も開始。

(有)ワックジャパン

市民生活と観光の調和



商品のストーリーを販売先が お客様に伝えてくれる



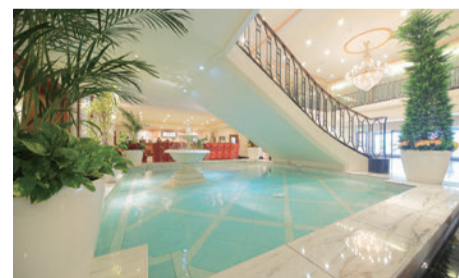
「2073年までに赤ちゃんが食べられるタオルをつくる」という指針掲げる今治タオル製造会社。ストーリーに共感するホテルや飲食店で採用され、持続可能なものづくりの輪を広げている。2014年に京都出店。

IKEUCHI ORGANIC(株)

環境・景観の保全



災害時に地域に貢献する 準備をしておく



帰宅困難者対応計画の策定、地域に井戸水を提供する「災害時協力井戸」の登録、「安心救急ネット京都」への加入とAEDの設置などを積極的に行う宿泊施設。危険を感じた子どもが逃げ込める「子ども110番のいえ」にも参加している。

ホテル日航プリンセス京都

災害対応



NEWS

京都の民間事業者による サステナブルツーリズムの コミュニティが誕生



京都市のサステナブルツーリズムを考える民間事業者のコミュニティが発足し、令和4年11月に開催された「京都・地域企業勉強会」では、京都らしい持続可能な観光について議論を広げました。今後も様々な事業連携を深めていきます。関心のある事業者様はお問合せください。
問合せ: kyoto_sustainable@jtb.com

調査 | 京都観光モラルを推進する会

藤本直樹(株式会社JTB) / 西澤徹生(SIGHTS KYOTO) / 市川智也(株式会社京都春秋) / 福田千恵子(一般社団法人ツーリストシップ) / 本山喜之(株式会社ピオスタイル) / 今津新之助(SOCIAL WORKERS LAB) / 堀江卓矢(京都市観光協会) / 前田展広(京都市ソーシャルイノベーション研究所) / 発行 | 株式会社JTB 京都支店 編集 | 柴田明(株式会社おいかけ) デザイン | 山本安佳里(AKARI DESIGN) 印刷 | サンケイデザイン株式会社 協力 | 京都市ソーシャルイノベーション研究所(SILK) / 一般社団法人リソース / 京都市観光協会 発行日 | 2023年3月20日 / お問合せ | 株式会社JTB 京都 E-mail kyoto_sustainable@jtb.com 担当 藤本・伊藤

・本事業は国土交通省近畿運輸局による「持続可能な観光に資する取組の見える化の推進事業」として、京都市及び京都市観光協会が推進する京都観光モラルの取組を、株式会社JTB 京都支店が受託し実施しています。

・本紙は「京都観光モラルを推進する会」が京都観光モラル「推進宣言事業者」の中から優良な事業者を編纂し、発行しています。